

天使のピストル

池田真也

1 校門で立っている少年。

下校する少女。少年は横目でちらちらと彼女を見ている。彼女の唇、長い髪、純白の靴下。彼は「さよなら」としか言えない。

去って行く彼女。

地団駄を踏む少年。

2夜。

自分の家から住宅地、商店街と彼は全力で走る。スピードはどんどんあがっていく。

3 少年の部屋。

机の上に左手を広げる。右手にナイフを持って、指と指の間をささらないように、ナイフをおろす。親指と人差し指の間の次は人差し指と中指の間、とナイフを動かして行く。始めはゆっくりだった動きはだんだん速くなっていく。

彼女の笑顔（回想）

速くなる右手の動き。

彼女の笑顔。速くなる右手の動き。

彼女の笑顔。速くなる右手の動き。

ナイフを指の上におとしてしまう。一瞬目をつむり大きく息を吸

い込む。どくどくと流れ出す血。自分の血を少年は見ている。

真っ赤な血。机は汚れる。少年は傷口に唇をあてる。

4 学校の男子トイレ。

今は授業中。誰もいない。中に入り鍵をしめる。ポケットからマジックをとりだして壁に彼女の絵を書き始める。壁は大きなキャンバス。静けさの中、それは彼だけの秘密。壁に描きなぐる少年。水が落ちる音。びっくりする少年。

一時間で完成。風に髪をなびかせて、左手で麦ワラ帽子をおさえる少女の絵。

洋式の便器に座って満足げに自分の作品を見ている少年。

トイレに誰かがやってきた。足音が近づいてくる。息をひそめる少年。彼の部屋をノックする。彼はノックを仕返さない。ドアを明けようとする音。少年は音をたてないように足を便器の上にあげてじっとしている。

ガチャガチャガチャガチャガチャガチャ。

ノックの音。しだいに大きくなっていく。

ドンドンドンドンドンドンドンドン。

うずくまり息をひそめる少年。

5 少女の部屋がバラの花で埋められる。真っ赤なバラ。そして油

絵。等身大のキャンバスに描かれた彼女の肖像画。誰の仕業かは分からない。

6 少年の体が空から真つ逆さまに落ちて行く。頭からものすごいスピードで台地にぶつかっていく。大きな音。こなごなになる少年の体。緑深い山奥の湖。清らかな水の中、学生服の少年。目を閉じて沈んで行く。

7 朝、うつむきながら歩いている少年。駅の誰かを待っている彼女を見つける。心臓の鼓動が激しくなる。彼女は少年を見ている。

少年の進路に立ちふさがる少女。

彼女の足。こっちを見ている彼女。

彼女の胸。こっちを見ている彼女。

彼女の顔。

彼女の目。少年を見つめる二つの瞳。

少年の進路には彼女が堂々と立っている。すれ違ふ。

少女「おはよう」

少年「お、お、おはよう。」

8 地下鉄の駅。

ベンチに座っている少年。包帯をしている左手でコブシをにぎり何回も何回も何回もベンチをたたく。包帯はだんだん赤くにじんでくる。電車がやってくる。でも彼は乗らない。

9夜。少年の部屋。

一本目のマッチをする。炎を見つめ、手が熱くなったら息で吹き消す。

二本目のマッチをする。炎を見つめ、手が熱くなったら息で吹き消す。

三本目のマッチをする。英語の教科書に火をつける。燃え上がる炎。息を吹いても火は消えず、少年はあわてる。セーターを脱ぎ炎の上にかぶせてようやくやくのことで火は消える。肩で息をする少年。

10教室

仲間と雑談している少年。次から次へと、異常なぐらい、とめどなくしゃべり続け、一人大声で笑い続ける。仲間はしらけまわりの人間は迷惑そうな顔をしている。

